

前回のあらずし

いよいよ最終仕様が完成した邪道スピーカー。予想はしていたが、やはりできたては全然良くなり、少しガツクリ。それでもエージングによって徐々に本性を現してきたが、まだまだその実力は未知数だ。そんな中オヤイデ電気近藤氏より、「代官山gradation」という、期間限定で巨大な空間を貸し切ったアートイベントがあるんですが、ステレオさん何かやりませんか？」とききた。これは渡りに船とばかりに、「面白いスピーカーがありますよ」と邪道スピーカーを差し向けた。11月半ば〜12月半ばまでの約1か月設置し、様々なアーティストやオーディエンスに自由に聴いてもらいその反応を探ってみた。



邪道スピーカーいよいよ完成。見よこの雄姿！

吉野 近藤さん、約1か月間この場所に邪道スピーカーを置いて鳴らしてきたわけですが、どのような反応がありましたか？

近藤 普段オーディオとかにあまり触れたことがない人たちも、「いい音だね」と言って立ち止まって聴き入っていることが多く、印象的でした。組み合わせた真空管アンプやアナログプレーヤーの雰囲気も良くて、スマホで撮っている人が多かったです。アンビエント系を流すDJがこのスピーカーを使用したイベントがあったのですが、「解像度がやべえ」と興奮していましたよ。スーパードライは現代のスピーカーを足して補っていました。吉野 解像度が高いというのは、恐らくネットワークがないことによる、ストレ



再生システムは、サンバレーSV-Pre1616D (プリ)、SV-P1616D (パワー)、テクニクス SL-1500C (アナログプレーヤー)、シュア V15type4 (本体) + JICO [KUROGAKI] (針)、をアクロージュ岸氏自作の無垢ラックに納めた。ケーブル類は全て、近藤氏が選んだオヤイデ製

吉野 ありがとうございます。なんか自画自賛の自慢ページみたいで面白くないので、具体的に良い部分と悪い部分を正直に語ってください。

近藤 月並みですが、いい音なんですよね。心地よいというか。いままで自分が高解像度なものが好きだったんですが、このスピーカーを聴いてから違う方向もアリだと思いはじめました。ある意味超高解像度なんです。スコットリアルに音が前に出てくるし。ボーカルやギターが異様にキレイになる。絶妙なんです。アルテックとかとも全然違って今ま

でに聴いたことがないですね。やっぱり箱の違いなんですかね。ロウもほどよく出て、スーパードライは厳しいですが、リスニングに向いているという。吉野 なぜ心地よいと感じるんですか？近藤 真空管との組合せというのもあるんですけど、中低域の表現力が素晴らしい。今のハイエンドスピーカーを聴くとレンジが広大なんです。別に映画館じゃないんだから……。これは音楽を聴くには適した音だと思ったんですよ。小さい音でもキレイになっているし「聴き続けたくなる音」なんです。この音が聴こえると酒が飲みたくなる(笑)。コンセプト通りにうまくいっていると思うので文句のつけようがないです。吉野 ありがとうございます、もう充分です(笑)。お互い持つてきたレコード聴いてみましょう。

ディアンジェロ/Voodoo

近藤 これは割と最近の録音ですが、全然違和感なく鳴ってますね。吉野 スネアのキレが気持ちいいです。バスドラもスピーディーでベースもまたつくことなく、とにかくノリがいいですね。岸 いい音ですよ。音楽を聴くのに、充分なレンジで満足できます。

オリジナル・サウンドトラック「パリ、テキサス」

吉野 パリテキはライのスライドギター

連載 新感覚オーディオクラフト
億流スピーカー!
邪道を往く
第12回 代官山イベント会場を鳴らせ
アクロージュファニチャー 岸邦明 x ステレオ編集部 吉野
アクロージュファニチャー http://www.acroge-furniture.com/

のバックで流れる「ゴゴゴ」という重低音はさすがにすっぽり抜けてますね。近藤 でも、ギターのリアルさは鳥肌ものです。スライドバーが弦を擦る音が生々しい。岸 僕は初めて聴きましたが、聴こえない重低音など全く気にならない。いい演奏でした。

ハービー・ハンコック／ファット・アルバート・ロトウンダ

吉野 この1曲目がうるさくならないければOKで、今までもチェックに使ってきました。今回がベストですね。うるさくない(笑)。

岸 各楽器が明瞭に見えるのに、ベースもしっかり下支えしてますね。やっと思としてまとまりましたね。

オリバー・ネルソン／ブルースの真実

近藤 61年録音のジャズですが、さすがに相性いいですね。吉野 こんなにジャズが気持ちよく聴けるなんて、嬉しいですね。ホーンが気持ちいいし、ウッドベースも弾む。家のスピーカーだはこの手のジャズが鳴らなくて諦めてました。岸 ジャズって鳴らすの難しいですよ。今のスピーカーだとなんだかね。

このあとも延々と試聴大会は続いた。次回最終回、いよいよ自宅へ!



オリバー・ネルソン／ブルースの真実 (1961年Impulse!)



オリジナル・サウンドトラック「PARIS, TEXAS」 (1985年Warner Bros.)



ディアンジェロ/Voodoo (Cheeba Sound)



自前のディアンジェロを再生する近藤氏



アートイベント「代官山Gradation」ラウンジに設置された邪道スピーカー

ートな音ということですかね。細かく音が見えるという事だけなら、現代のスピーカーの方が。近藤 いやいや、レンジは広くないですが、出てくる音の解像度、密度感が高いですよ。正直、はじめは、こんな古臭いスピーカーで大丈夫かよ、巨大なラジオみたいな音がるんだろ、と思ってましたが、どんどん低音も出てきて。ホーンのおかげで会場の遠くまで音も届くし、ホーンと音が出るスピード感は今まで聴いたことがないです。